

熊本県新分野進出モデル事業

会社概要

会社名	株式会社横山建設
代表者	代表取締役 横山森茂
所在地	熊本県天草郡苓北町志岐30番地
資本金	4,500万円
従業員数	17人
URL	http://www18.ocn.ne.jp/~awabi/
事業内容	

昭和26年会社設立
土木工事、建築工事、上下水道、舗装、他工事を主体に行う。

1 事業概要

アワビの稚貝生産、販売。成貝販売
ヒラメの稚魚生産、販売。成魚販売。
共に陸上養殖。
進出時期 平成17年12月あわび飼育開始。

2 事業背景と動機

建設投資の規模が縮小していくとの危機感から、経営の多角化や従業員の有効活用を図るため新分野進出を決めた。
天草の海を利用した事業にすることも養殖業に進出した要員の1つである。

3 活用した経営資源

我社は建設業であるので、その技術を活かし、施設全般（水槽、上屋、海上に給水管設置）を自社で行った。

4 投資額・資金調達方法

施設整備に約5,000万円
主に民間金融機関からの融資

5 事業推進体制

現在ひらめ部門は株式会社横山水産を立ち上げ、株式会社横山建設 養殖事業部と合わせてあわび・ひらめ生産販売を行っている。
技術的な相談は熊本県水産研究センターに出向いたり、大学などと提携している相談会に積極的に参加し技術の取得を行っている。

6 販路開拓・顧客開拓等

主な販路開拓として、各団体（苓北町、苓北町商工会等）との連携、商談会への参加、DMの配布、インターネットを利用した販売に参加している。
知人への呼掛けも欠かさない。

7 差別化戦略・競争戦略

ふ化から自社で行うことにより稚貝購入コストを無くし、価格に反映する事が出来る。又、安心・安全な国産品として競争力を付ける。
天草というブランドを活かし宣伝活動を行っている。

8 成果・売上等と課題

毎年、注文量は増え、少しずつではあるが売上也上向きである。
ただ、現在の世界的な不況の影響に伴い、海外品の安価な品物の輸入により価格は低迷し、先行きは不透明である。
目の前の課題として、注文サイズを常時安定して供給できる体制作りと、海外品との差別化を行っている買い手の開拓が上げられる。

9 苦勞した点

建設業から水産業へとまったく違う業種への取り組みで0からのスタートだったので、養殖技術の取得、資金調達、買い手の開拓と苦勞は多い。
また、生き物相手なので365日休みが無い。

10 今後の展望

地球温暖化による海水温度の上昇などでの漁獲量の減少、それに対する漁獲量の制限などにより、養殖の魚や貝類の重要性が増してくると考えている。

11 代表者等からの一言

厳しい業界事情の中での新分野進出ではあるが、その不況を乗り越える為に創めた異業種への挑戦であるので、日々勉強しながら前向きにがんばっています。
地域発展に貢献したいと考えています。